

■令和3年5月3日・10日合併号（第1737号）

- ・自民党港湾議連 CNPに係る検討状況＝脱炭素化で港湾機能高度化
- ・港湾局 「生産性の向上」施策＝港湾DXやデジタル化
- ・港湾局 基地港湾のあり方を検討＝風車大型化や需要増に対応
- ・春の叙勲 旭小に石黒氏＝瑞中に島田氏、福手氏、山田氏
- ・港湾局／航空局 港・空工事あり方検討委＝今夏にガイドラインまとめ
- ・東京都 ICT活用事業＝実証的取組を支援
- ・東京都 「東京ベイeSGプロジェクト」＝第1次策定案を公表
- ・能代港 WTOの鋼管矢板打設工＝洋上風力、大森地区水深10m岸壁
- ・伏木富山港 今年度に築造工事2件＝富山地区、水深10m2号岸壁改良
- ・川崎市 カーボンニュートラル産業エリア構築＝基本的な考え方作成へ
- ・東京都 神津島空港RESA＝改修計画調査を委託
- ・名古屋港 物流機能強化への期待＝飛島南ふ頭や臨港道路等
- ・名古屋港 既設CT岸壁の耐震改良＝飛島南TS2、鍋田T3
- ・鹿児島港 臨港道鴨池中央港区線＝橋梁P5、P7下部工へ
- ・三島川之江港 金子地区水深9m岸壁＝事業効果検討など実施
- ・北九州空港 保安部エプロン等整備＝用地造成～舗装工事等
- ・北九州港 新門司沖2期土砂処分場＝WTO護岸築造工事2件
- ・大坪海事局長 内航分野CNの方向性語る＝「ロードマップ」策定作業
- ・長崎県 江島沖洋上風力計画構想＝促進区域に向け協議開始
- ・福井県 低炭素、再エネ推進＝敦賀港長期構想の施策
- ・山口県 水素等エネルギー＝研究開発を支援
- ・経産省 CNの経済的実現施策＝民間活用も広く検討へ
- ・国交省とタンザニア 質の高いインフラ対話＝道路・港湾分野で意見交換
- ・横浜港埠頭 中期経営計画を策定＝ロジスティクス機能も
- ・濱口梧陵国際賞募集 津波・高潮への防災＝5月23日まで
- ・秋田県 埋立造成が数年継続＝港湾整備経営戦略策定
- ・福井県 港湾整備経営戦略＝荷役機械更新など

■令和3年4月26日号（第1736号）

- ・港湾局 港湾DXの運用拡大図る＝横浜新本牧ふ頭整備で試行
- ・秋田、能代港の洋上風力建設開始へ＝SEP船が到着、秋田洋上風力発電
- ・港湾局 「担い手育成・確保」施設＝回航等対象船舶拡大検討
- ・国交省 第3回グリーン社会WG＝港湾・海事分野のCN等
- ・港湾局 国際クルーズ受入機能＝高度化事業実施の16港
- ・リサイクルポート推進協 環境大臣賞を受賞＝災害廃棄物海上輸送等評価

- ・鹿島港 タワー載荷部の築造手続＝洋上風力、12m岸壁の基地港整備
- ・石狩湾新港 東港国際物流ターミナル＝小樽開建、水深12m岸壁に着工
- ・仙台塩釜港 石巻港区南防波堤＝地盤改良が完了へ
- ・関東地整 第二海堡の護岸工事＝東京湾中央航路整備
- ・敦賀港 鞠山南国際物流ターミナル＝裏込工を2四半期
- ・鹿児島港 谷山二区第2バース整備＝1件工事で30億～50億円規模
- ・和歌山下津港海岸 藤白護岸改良を順次延伸＝築造工事や詳細設計等
- ・中城湾港 長期構想策定、年度内改訂＝新港地区の物流機能強化へ
- ・大阪港 北港南航路附帯施設整備＝沈殿池の最終工事手続き中
- ・大分港 大在西RORO新バース＝深層混合で海底地盤改良
- ・東洋建設 打設杭トータル施工管理システム＝高精度化や省人化を実現
- ・九州大学 洋上風力融資適格性評価＝日造ら4社と共同研究開始
- ・山形県 洋上風力早期導入へ取組＝遊佐町沖と酒田市沖で検討会
- ・三井物産と北拓＝洋上風力メンテ新会社設立
- ・環境省 鉄スクラップ輸出の遠方化＝第2回海上輸送検討会開催
- ・阪神国際港湾 CONPAS導入を促進＝検討会が支援事業を開始
- ・東北地整 能代港に関する回答＝洋上風力の基地港湾
- ・千葉県 名洗港整備に着手＝洋上風車メンテに
- ・千葉県 いすみ市沖風力構想＝国に促進区域要望
- ・環境省 北九州空港滑走路延長＝環境大臣が意見書提出

■令和3年4月19日号（第1735号）

- ・羽田空港 アクセス鉄道や耐震化等＝令和3年度主要事業の概要
- ・港湾局 港・空工事あり方検討会＝新担い手3法の対応も強化
- ・港湾局 感染症BCPガイドライン＝新たにコロナ対策を組み込み
- ・港湾局 サイバーポート推進WG＝事業者間連携機能等確認
- ・東北地整 秋田港の洋上風力発電＝基地港湾の賃貸借契約調印式
- ・釧路港 土砂処分場拡張部に着工＝西港区、泊地浚渫、島防波堤も
- ・東京港 中防外側Y3バース＝試験杭工事を発注予定
- ・両津港 湊地区岸壁改良着手＝今年度に調査・設計
- ・伏木富山港 新湊大橋を耐震化＝今年度に詳細設計
- ・阪神港 国際コンテナ戦略港に234億円＝大阪港の水深16m航路等
- ・北九州港 洋上風力積出し基地整備＝岸壁取付部と背後埋戻し
- ・那覇港 臨港道路若狭港町線＝今年度から現地着工へ
- ・防衛省 馬毛島自衛隊基地整備＝港湾施設整備等へ調査
- ・中城湾港 水深11m泊地の浚渫＝今年度34万m³実施

- ・五洋建設 DEME社（ベルギー）と合弁会社＝洋上風力、大型SEP3隻体制へ
- ・東洋建設 ジャイロ式船舶減揺装置＝潜水土船に初導入し効果
- ・エネ庁 洋上風力2030年導入料＝200～300万kW運開へ取組み
- ・北陸地整 新潟港CNPまとめ＝6つの具体的な取組みを提示
- ・潜水協会 潜水技士の受験資格見直し＝若手潜水土確保・育成へ
- ・経産局・新潟県 カーボンニュートラル産業ビジョン策定＝協議会の中間まとめ
- ・新潟県 再生可能・次世代エネ＝産業労働部3年度事業
- ・国交省 インフラDX総合推進室＝DXルームと実験フィールド開所

■令和3年4月12日号（第1734号）

- ・港湾局 CNP形成マニュアル骨子＝6地域の検討会結果まとめ
- ・港湾局 管理分野サイバーポート＝素案作成、今後システム設計
- ・クルーズ振興 安心安全、地域活性化支援＝補助事業の申請受付へ
- ・港湾局 AIでガントリークレーン予防保全＝センサー解析で異常確認
- ・国交省 社会資本重点計画素案＝DXやインフラの脱炭素化
- ・国交省人事（4月1日付、事務官）
- ・東京港 新規埠頭など機能強化案＝第2回長期構想検討部会を開催
- ・関東地整 横浜・川崎CNP検討結果＝目指すべき姿や取組み
- ・関東地整 東京湾浅羽造成工事＝富津沖窪地を埋め戻し
- ・仙台港 ガントリー3号機＝更新工事を発注へ
- ・新潟港 北護岸の基礎工事＝航路泊地付帯施設
- ・四日市港 霞北ふ頭W81バースに着手へ＝水深14m延長300m岸壁
- ・神戸港CNP 荷役機械や係留時電力等＝全国に先駆け積極的FC化へ
- ・中部地整 名古屋港CNPまとめ＝必要な基幹インフラなど
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場2期＝護岸築造、地盤改良促進
- ・北開局 港湾・漁港の技術開発＝ビジョン策定、持続可能なみなとづくり
- ・各社トップの入社式訓示
- ・海事協会・沿岸センター 洋上風力設備で合同審査＝発電事業者の作業負担軽減
- ・北陸地整 港湾ビジョンを策定＝北前船構想2030
- ・港空研 世界初、長時間海底地形計測＝ハイブリッドドローン活用
- ・東亜建設工業 冷凍冷蔵倉庫向け耐火構造壁＝国土交通大臣認定を取得
- ・鹿島港洋上風力発電＝配慮書の縦覧が終了
- ・東京港 LNG・水素燃料船＝インセンティブ導入
- ・横浜港港勢（R2速報値）＝コンテナ12月は回復

■令和3年4月5日号（第1733号）

- ・港湾局人事（4月1日付）
- ・産直港湾 農林水産物・食品の輸出支援＝施設整備等民間事業者公募
- ・土木学会 「インフラパートナー」制度＝市民団体等と協働活動
- ・港湾局 点検技術カタログ公表＝3年度追加公募
- ・新潟港 航路泊地付帯施設の整備＝西港区、北護岸ケーソン製作など
- ・千葉港 防泥柵の改良工事＝葛南地区国際物流ターミナル
- ・石狩湾新港 水深12m岸壁に着手＝東地区国際物流ターミナル整備
- ・新潟県 両津港南ふ頭再編＝交通広場レイアウト
- ・徳山下松港 国際バルク戦略港湾整備＝徳山地区岸壁の延伸工も
- ・高松港朝日地区 複合一貫輸送ターミナル＝3年度に船首部から施工
- ・八代港 大築島処分場護岸地盤改良＝WTO2件のSCP打設工
- ・博多港 臨港道アイランドシティ3号線完成＝鳩山政務官迎え開通式典
- ・宇部興産、港空研ら 深海でセメント硬化体計測＝駿河湾沖70km、水深約3,500m
- ・横浜港南本牧 MC4が本格供用開始＝全体の一体利用が可能
- ・関東地整 CONPAS本格運用＝横浜港南本牧コンテナ
- ・小名浜港 第3回CNP検討会開催＝形成に向けた方向性提示
- ・国交省・水産庁 Pボート放置艇対策＝今後の対応策まとめ
- ・海事局 海運モーダルシフト表彰＝大賞2者、優良事業12者
- ・苫小牧港 ESIプログラムに参加＝環境配慮船の寄港促進
- ・横浜市 港湾整備事業費会計＝新本牧の発生土受入
- ・環境省 東京湾環境一斉調査＝2年度報告書まとめ
- ・土木学会 日米合同シンポ（4/14～）＝インフラレジリエンス

■令和3年3月29日号（第1732号）

- ・港湾局 海・船視点の港湾強靱化＝Ver.1まとめ、年内に技術基準改定
- ・JBE Jブルークレジット認証＝交付式開催、横浜港の藻場づくり活動
- ・関東地整 横浜・川崎港CNP＝第3回検討会、方向性とりまとめへ
- ・港湾局 港湾感染症BCP検討会＝ガイドライン案まとめ
- ・日本港湾協会 ポート・オブ・ザ・イヤー表彰式＝「佐渡の港」が受賞
- ・日港連ら 特定技能外国人受入れへ＝港湾関係、第2回検討協議会開催
- ・新千歳空港 誘導路複線化の整備促進＝札幌開建、RESAは文化財調査へ
- ・関東地整 多摩川トンネル立坑2件入札＝国道357号湾岸道路
- ・千葉港 コンテナヤード拡張＝自動車ヤード移転後に
- ・福島県 相馬港防波堤の延伸＝小名浜港は荷役機械
- ・大阪港 北港南航路の浚渫工事＝水深16m化、拡幅増進
- ・大分港海岸 津留地区護岸の改良＝鋼矢板打設工を促進

- ・近畿地整 阪神港COMPAS＝神戸港で第1回試験運用
- ・高知港海岸 タナスカ地区耐震改良＝西護岸の鋼管矢板圧入工事
- ・国交省 次期技術基本計画策定へ＝部会開催、3年度末にとりまとめ
- ・NEDO 水素社会モデル構築へ＝技術開発、ポテンシャル調査
- ・近畿の国際物流 第17回本部会合を開催＝コロナ感染症の物流影響等
- ・国交省 新・国土形成計画策定へ＝来年度、総点検を実施
- ・東亜建設工業 原位置地盤試験機を開発＝軟弱地盤等、トータル管理技術
- ・日鉄エンジ 青少年の体験活動推進＝文科省表彰、審査委員会優秀賞
- ・JICA マタディ港改良計画FS＝ヤード整備、オペレーションシステム導入
- ・東商 赤羽国交大臣に要望書＝次期交通政策基計施策
- ・国交省 インフラメンテ大賞＝募集開始、技術開発等

■令和3年3月22日号（第1731号）

- ・高田港湾局長 港湾施策の展望を語る＝物流の高度化、グリーン化
- ・航空局 空港の再エネ拠点化へ＝検討会設置、Co2削減方を議論
- ・航空局 航空法の一部改正案を閣議決定＝制度創設、基盤強化方針策定など
- ・航空局 次世代航空モビリティ＝企画室、4/1付新設
- ・港湾局 サイバーポート運用開始へ＝港湾物流手続きの電子化
- ・港湾局 サイバーポート実証事業＝利用促進、運用効率化
- ・入札契約 海外実績等を加点評価＝国交省、認定・表彰プロジェクト対象に
- ・千葉港 泊地浚渫と構造物撤去工＝関東地整、中央地区複合一貫ターミナル整備
- ・東京港 長期構想議論本格化＝第2回検討部会開催へ
- ・世界最大級コンテナ船 MSC ISABELLA＝横浜港南本牧CTに入港
- ・浦賀レンガドック活用＝民活含む整備方針検討
- ・舞鶴港 和田地区第2バース整備＝新年度からSCP工事へ
- ・中空沖土砂処分場 各種調査業務順次発注へ＝3年度の工事着手へ準備
- ・高松港朝日地区 ターミナル着工式典開催＝赤羽国土交通大臣が式辞
- ・西之表島 ROROバースを新設＝新規採択評価部会、耐震強化岸壁として整備
- ・NEDO 洋上風力導入拡大へ調査＝技術開発の方向性
- ・JERA 青森沖で洋上風力計画＝アセス配慮書、最大出力60万kW
- ・鉄鋼連盟 「第24回土木鋼構造シンポ」＝基礎構造物の強靱化取組等
- ・りんかい日産ら「PDM (Pile Driving Monitor)」開発＝打撃杭変位量を自動計測
- ・国交省ら 第9回ロボット大賞決定＝母船レス海底調査システムなど
- ・中部地整 大分産を清水港からシンガポール港へ＝農産物の試験輸送に取組み
- ・日立造船 青森西北沖洋上風力＝事業に係る合弁契約締結
- ・国交大臣賞 グリーンインフラ大賞＝シンポ開催、表彰式実施

- ・国交省 国土交通データプラットフォーム＝利用規約を策定
- ・グリーンイノベ基金＝経産省が基本方針策定

■令和3年3月15日号（第1730号）

- ・港湾局 第81回港湾分科会開催＝清水港の改訂、5港の変更
- ・高田港湾局長 環境価値の高い港づくり＝我が国が目指す港の姿
- ・港湾局 新規事業評価部会開催＝7事業整備を適当と答申
- ・港湾局 海面上昇対応の基準整備＝検討委、年度内に方向性
- ・温対法改正案、閣議決定＝制度創設、脱炭素化を促進
- ・津波・沿岸防災書籍発刊「絆 津波からいのちを守るために」
- ・鹿島港 岸壁築造を第1四半期に＝洋上風力基地港湾、外港地区水深12m岸壁
- ・小名浜港 第二沖防波堤の築造＝WTO案件で5月開札
- ・横浜・川崎港 第2回CNP検討会開催＝方策、将来像等を議論
- ・北九州空港の3,000m化 計画段階環境配慮書縦覧＝南側延長案で手続きを進める
- ・神戸港 PIコンテナヤード拡張＝港湾計画一部変更、約10haを追加に
- ・細島港 ROROふ頭を位置づけ＝耐震2バース、ふ頭用地確保
- ・博多港 国際海上CT岸壁延伸部＝ガントリークレーン設置
- ・中国管内港湾 広域連携BCP検討会発足＝初会合開催、来年度まとめ
- ・「東京ベイESGプロジェクト」＝東京都、今月末に具体計画策定
- ・東京湾再生フォーラム 未来交流会2021開催＝NPO、企業の組織連携
- ・みなと総研 「未来のみなとづくり」＝令和3年度助成公募中
- ・寒地センター 「シンポみなと in 札幌」＝洋上風力テーマに意見交換
- ・苫小牧港 小口混載コンテナ輸送＝支援事業、3者を選定
- ・丸紅 石狩湾で洋上風力＝アセス配慮書、最大出力100万kW
- ・横浜市港湾局 クルーズ船寄港へ備え＝「陰圧テント」確保
- ・国交省 グリーン社会WG開催＝夏頃まとめ、港湾・海事施策など
- ・国交省 官民連携基盤整備事業＝案件募集、6月配分
- ・東洋建設 4月1日付人事、機構改革

■令和3年3月8日号（第1729号）

- ・東日本大震災から10年 港湾における復旧・復興の歩みと、教訓を踏まえた今後の防災・減災対策
- ・港湾局 ブルーカーボン検討会開催＝吸収源対策、オフセット制度試行
- ・国交省 新規事業化候補を公表＝港湾整備事業は7件
- ・港湾局 港湾工事積算基準改定＝令和3年度、歩掛等
- ・土木学会 東日本大震災シンポ＝3/9、オンライン開催

- ・酒田港 第二北防波堤の延伸整備＝北港地区、WTO案件で本体工事
- ・横浜港 山下岸壁を耐震強化＝一部変更を分科会へ
- ・能代港 岸壁の鋼管矢板着手＝大森地区国際物流ターミナル
- ・茨城港 D岸壁に第1船入港＝常陸那珂港区中央ふ頭
- ・ブルーカーボン推進＝横須賀市が取組み
- ・北九州港 洋上風力積出し基地港湾＝響灘地区、岸壁本体工が開始へ
- ・神戸港 航路附帯施設護岸基礎工＝第2工区の捨石手続きへ
- ・和歌山下津湾海岸 藤白護岸工区に順次着手＝企業活動にも配慮し施工
- ・国交省 i-Con 大賞を発表＝26団体、釧路、名古屋港の取組等
- ・長崎県 洋上風力ゾーニング実施＝マップ公表、候補エリア5ヵ所抽出
- ・中部圏協議会 水素需要試算等を公表＝港湾受入基地候補地選定を
- ・国交省 質の高いインフラ輸出＝インドネシア、人材育成で協力強化
- ・JICA インドネシア漁港整備＝無償資金協力30億円
- ・中部空港ら 空港等テーマ書籍提供＝地域の全中学校に
- ・日本郵船ら 燃料電池船の実証運航へ＝横浜港、市と連携協定締結
- ・東京都 埋立地開発事業実施計画（下）＝令和3～5年度開発予定
- ・国交省 港湾統計速報12月分＝外貿コンテナ2%減
- ・舞鶴港R2年取扱貨物量＝前年比21%減
- ・国交省 建設市場セミナー＝3/17開催、参加者募集
- ・あおみ建設 4月1日付け人事異動・組織変更

■令和3年3月1日号（第1728号）

- ・エネ庁／港湾局 洋上風力導入へ合同会議＝促進区域評価法案件形成加速化方策など
- ・港湾局 気候変動適応策の実装へ＝技術検討委員会を開催
- ・海事局 次世代モビリティ活用へ＝海洋分野産学官協議会を開催
- ・国交省 設計業務委託等技術単価＝平均で対前年比1.6%増
- ・建設分野 即戦力外国人材の受入れ＝国交省 ベトナムで試験実施へ
- ・国交省 砂浜の利用創出へ＝来年度、手引書作成
- ・国交省 第3回SPP会合を開催＝質の高いインフラ技術等
- ・国交省 国土計画シンポジウム＝3/10、オンライン
- ・横浜港 新年度予算で323億円＝新本牧地盤改良や本体工など
- ・苫小牧港 管理組合が経営戦略＝岸壁・荷役機械の整備
- ・東京都 高速晴海線の延伸部＝事業化へ概略計画検討
- ・大阪港 北港南航路・泊地等浚渫＝今後航路部も工事追加へ
- ・岩国港臨港道路 4号橋P1橋脚着手へ＝3号橋は今後上部工予定
- ・高松港 備讃瀬戸北航路交差部浚渫＝朝日地区水深12m化も促進

- ・中国地域港湾の将来像示す＝資源・エネの供給拠点形成等
- ・環境省 中央環境審議会総会開催＝瀬戸内海的环境保全など
- ・うみそら研ら オープンイノベ大賞受賞＝海洋油濁防止技術の実用化
- ・東亜建設工業 「冷蔵倉庫の相談室」新設＝新築、改修、改善等に対応
- ・日米間コンテナ（1月）＝輸出は前年比・前月比でプラス輸入は前年比5.3%増
- ・商船三井 子会社2社を合併へ＝MOLマリン／MOLエンジ＝海洋技術の結集
- ・東京都 埋立地開発事業実施計画（上）＝令和3～5年度開発予定
- ・東亜建設工業 社外取締役を増員＝4／1付、人事も発表
- ・NEDO 高圧直流送電S構築へ＝3月公募洋上風力導入に対応
- ・日本郵船 風発タービン稼働開始＝ベルギー完成車ターミナル
- ・（寄稿第4回）モダリティシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

■令和3年2月22日号（第1727号）

- ・港湾局 i-Con推進委を開催＝BIM／CIM、ICT活用工事拡大へ
- ・国交省 新たに8資格を登録＝総合評価で加点等
- ・国交省 海外プロジェクト技術者認定・表彰＝初認定1077件
- ・港湾局 クルーズ受入高度化支援＝コロナ対策、施設整備補助、公募
- ・令和2年度3次補正発注予定業務（港湾空港関係）
- ・横浜港 新本牧国際CT整備事業＝大型港湾工事を順次発注
- ・仙台塩釜港 小口部ケーソン2函製作＝来年度後半に本体築造延伸
- ・久慈港 湾口防波堤でWTO2件＝ケーソン製作と築造工事
- ・八戸港 航路附帯施設整備を促進＝B護岸ケーソン据付予定
- ・大分港 大在西ROROバース新設＝地盤改良とケーソン製作
- ・八代港 第1四半期に緊急復旧工＝築堤と約20万m³浚渫
- ・高知港海岸 タナスカ地区の耐震改良＝補正予算で西護岸に着手
- ・荻田港 バイオ燃料船受入開始＝新松山岸壁、暫定水深10m泊地整う
- ・福島県沖地震 相馬港に軽微な被害発生＝耐震強化岸壁は健全性示す
- ・国交省 グリーン社会実現へ議論＝合同部会、環境行動計画の改定
- ・東亜建設工業 ナミベ湾開発、工事開始＝CT整備等、450億円
- ・港コン協 Web意見交換会開催＝横須賀の両研究所と
- ・東亜建設 コーポレートメッセージ策定＝長期ビジョンの達成へ
- ・国交省 インフラDX施策まとめ＝港湾分野等、BIM／CIM構築
- ・国交省 インフラ維持管理データ＝DPと試行的に接続
- ・国交省 官民連携事業の支援＝先導的、公募開始
- ・国交省 交通運輸技術フォーラム＝3/9、WEB開催
- ・（寄稿第3回）モダリティシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

■令和3年2月15日号（第1726号）

- ・エネ庁／港湾局 促進区域指定へ要望受付＝都道府県から、3年度選定プロセス開始
- ・国交省 事業再評価結果を公表＝継続対応、港湾22件、海岸3件
- ・閣議決定 造船事業の基盤許可へ＝改正法、支援制度の創設等
- ・国交省 物流拠点の高度化支援＝国際港周辺で公募
- ・広島技調 カルシア改質土の港湾適用＝「実りある学者」133名参加
- ・国交省 積算基準等を改定＝土木工事・業務
- ・令和2年度3次補正発注予定工事（港湾空港関係）
- ・関東地整 横浜・川崎CNP検討会開催＝実現への課題や方向性議論
- ・能代港 大森地区洋上風力基地＝3年度に岸壁本体工実施
- ・北陸港湾が代替輸送訓練＝首都直下・南海トラフ、巨大地震へ広域連携
- ・秋田港 地盤改良盛り上り工＝中間処理しリサイクル
- ・中空沖土砂処分場 公有水面埋立承認申請へ＝3年度後半には工事着手も
- ・三河港 次期港計改訂に向け作業＝年度内に長期構想まとめ
- ・八代港 大築島処分場護岸SCP＝補正予算でWTO2件
- ・四国地整 水際・防災対策連絡会議＝管内港湾関係者情報共有
- ・合同部会 社資整備重点計画を議論＝交政基本計画も、春頃閣議決定へ
- ・国交省 社会資本整備交付金＝港湾整備等。1兆円規模を配分
- ・東電RP 浮体式風力実証プロジェクトに参画＝ノルウェー、テトラ・スパー型
- ・国交省 質の高いインフラ対話＝コートジボワール案件創出へ技術紹介
- ・茨城県 いばらきの港説明会開催＝貨物量増加、優位性PR
- ・中部地整／港コン協 合同で防災訓練実施＝Web方式で災害情報伝達
- ・土木学会／港空研 水中機器類技術講習会＝受講募集、海洋土木従事者向け
- ・風力発電協会 風力フォトコンテスト＝入賞作品を決定
- ・石狩湾新港 令和2年取扱貨物量（速報値）
- ・（寄稿第2回）モーダルシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

■令和3年2月8日号（第1725号）

- ・港湾局関係 第3次補正予算1304億円＝ポストコロナ、5カ年加速化対策を推進
- ・国交省 第2次交通基計案を議論＝小委開催、今年春頃に閣議決定
- ・国交省 インフラ分野DX施策＝今夏目途、アクションプラン策定も
- ・国交省 2020年クルーズ速報値＝コロナ影響大、寄港回数87%減少
- ・港湾局 地方再生港整備交付金＝3次補正3計画に配分
- ・航空局 3次補正空港整備事業＝ゼロ国債65億円配分
- ・東北地整 小名浜港CNP検討会開催＝地域産業を支える拠点形成

- ・鹿島港空事務所 鹿島港でケーソン2函＝茨城港常陸那珂港区でも
- ・福井県 敦賀港長期構想まとめ＝鞆山地区物流機能の強化
- ・北陸地整 新潟港CNP検討会＝港湾機能の高度化活用など
- ・CNP 脱炭素化へ民間交え協議＝第1回検討会、神戸、名古屋、徳山下松港
- ・徳山下松港 国際バルク戦略港湾整備＝今後B区J2基の手続きへ
- ・大分空港 滑走路の液状化対策＝護岸越波対策も予定
- ・九州地整 2年度補正発注見通し＝八代港地盤改良、WTO2件など
- ・大阪湾フェニックス 3期神戸沖埋立で準備書＝77ha、着工後約8年で護岸
- ・経産省 グリーンイノベーション＝基金創設、3次補正で2兆円計上
- ・応用地質／日本郵船 洋上風力、海底地盤調査＝フグロ社と協業、サービス展開へ覚書手

結

- ・三菱重工 風力設備販売会社設立＝ヴェスタス社と合併
- ・NEDO CCUSの大規模実証へ＝苫小牧港、近く事業者公募
- ・川重／日立造船 シールドマシン新会社＝海外展開見据え、設立へ基本合意
- ・国際石油開発帝石 ゼロカーボン社会へ＝経営方針、再エネ注力
- ・第15回海の再生全国会議（2/17）＝新しい大阪湾再生に向けて
- ・航空局 空港所除雪の自動化推進＝実証試験
- ・国交省 建設現場の革新的技術＝プロジェクト報告会
- ・土木学会 建設ロボット実用化へ＝異分野技術者交流会（2/15）
- ・寄稿（連載第1回） モーダルシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

■令和3年2月1日号（第1724号）

- ・農林水産物等 産地・港湾連携で輸出促進＝支援拡充、利活用方策の検討も
- ・リサイクルポート循環部会 鉄リサイクル輸出ビジョン＝国際競争力強化へ中間まとめ
- ・港湾局 遠隔RTGの導入を支援＝新規整備等、3港で取組み促進
- ・国交省 直轄工事関係資料を公開＝港湾空港の契約状況等
- ・RSO 「脱炭素化港湾への挑戦」＝第3回フォーラム開催
- ・国交省 港湾統計速報11月分＝外貿コンテナ7%減
- ・羽田空港 空港アクセス鉄道が始動＝今秋から京急駅引上線整備
- ・年度内目途 東北港湾ビジョン策定へ＝目指すべき方向性、戦略
- ・北陸地整 港湾ビジョン（案）まとめ＝『新・日本海北前船構想』
- ・あおみ建設／宮城県 栈橋復旧事業で国交大臣賞＝インフラメンテ Re-Pier 工法
- ・鹿児島県 臨港道鴨居中央港区線＝鋼製橋梁区間を先行整備へ
- ・中国地整 港湾の中長期構想検討＝年度内に策定・公表へ
- ・浜田港 新北防波堤東50m延伸＝基礎捨石等初弾工事手続き
- ・中国物流戦略チーム 浜田港利用者懇談会＝コンテナ航路の利便性向上

- ・名古屋技調 第23回民間技術交流会＝聴講者募集中（2/18開催）
- ・宇部興産／港空研 深海でセメント系材料活用＝技術確立へ期待、劣化機構を調査・分析
- ・和歌山県 洋上風力ゾーニングマップ＝年度内策定、環境調査し、エリア区分
- ・九電みらい 潮流発電実用化へ実証＝長崎県沖、国内初、大型機設置
- ・大成、本間ら 新潟沖で洋上風力計画＝アセス方法書、最大出力40万kW規模
- ・三井E&S 遠隔モニタリング開発＝次世代港湾クレーン
- ・国交省 超高強度コンクリ技術＝道路、港湾等、技術比較表を公表
- ・国交省 自動離着棧システムの開発＝高精度測位技術活用
- ・国交省 官民連携基盤整備調査＝補助事業、案件募集
- ・三菱重工 ドイツで水素プロジェクトを推進＝欧州企業と基本合意
- ・NEDO 未開発海域の調査＝洋上風力の導入へ
- ・土木学会デザイン賞＝表彰式開催

■令和3年1月25日号（第1723号）

- ・港湾局 港湾行政の方向性、施策展開＝高田局長、重要港湾主幹課長会議
- ・沿岸センター／海洋調査協 洋上風力の海底地盤評価手法＝本年秋に手引き作成へ
- ・政府 国土強靱化施策の推進＝年次計画、策定方針まとめ
- ・空港 耐災害強化対策を推進＝5か年加速化、浸水、耐震整備など
- ・国交省 交付金の重点配分対象決定＝社会資本整備／防災・安全、港湾老朽化対策など
- ・港湾局 基地港湾の貸付制度＝洋上風力、契約書案を公開
- ・国交省 建設施工自動化・自律化＝産学官協議会設置へ
- ・国交省 物流ネットワークの代替性検討＝自然災害を想定
- ・伏木富山港 ケーソン4函製作の手続き＝水深10m2号岸壁改良
- ・北陸地整 洋上風力基地も検討＝港湾ビジョン素案（案）
- ・清水港 次期改訂計画案をまとめ＝新興津地区、国際コンテナT機能強化
- ・広島港 宇品ふ頭の再編改良事業＝鋼矢板、控杭工の延長部へ
- ・大阪港 WTOで浚渫工2件＝北港南地区航路・泊地等
- ・熊本港 利用促進検討会を設置＝内航航路確保へ機能強化
- ・港湾局 作業船の係留施設確保へ＝各港で調整、整備を
- ・柴山港外防波堤（西）＝10函目ケーソン打継工
- ・鹿児島港 谷山二区係留施設＝第1期バース最終築造へ
- ・JOGMEC CCS事業の取組み推進＝カーボンニュートラルへ
- ・水産庁 港湾背後の市場整備等＝基盤整備事業726億円
- ・国交省 海事産業の基盤強化等＝2月、法案提出へ
- ・関西電力 遊佐沖で洋上風力計画＝アセス配慮書、最大49万kW規模
- ・JICA アセアン港湾戦略運営＝技術協力、研修開催

- ・円借款事業 パティンバン港運営開始＝急速施工、披露式典開催
- ・I S A 深海底の環境調査指針＝岡本硝子、江戸っ子1号を推奨
- ・広島技調 第2回実りある学舎開催（Web方式、2/4）
- ・海事局 先進船舶導入支援事業公募開始

■令和3年1月18日号（第1722号）

- ・港湾局 水素社会へ港湾機能高度化＝今月からCNP検討会開催
- ・赤羽国土交通大臣 新春のご挨拶
- ・埋浚協会 元年度埋立浚渫土量実績＝海外受注現況もまとめ
- ・交政審 造船業の基盤整備方策等＝制度創設要望、国交大臣に答申手交
- ・国交省／厚労省 建設業担い手確保へ連携＝来年度予算で取組推進
- ・茨城港 直轄で東防波堤と12m岸壁＝常陸那珂港区、県は埠頭用地整備
- ・敦賀港 鞠山南国際物流ターミナル＝岸壁上部工事の手続き
- ・新潟県 水素利活用へ促進協＝実証プロジェクトも
- ・名古屋港 飛島ふ頭東地区岸壁再編＝B工区上部工の手続き開始
- ・神戸港 航路附帯施設岸壁の築造＝捨石第2工区を第1四半期に
- ・津松阪港海岸 堤防改良が最終段階へ＝5年度の全区間完了を予定
- ・年頭の辞 和田浩一国土交通省航空局長
- ・企業トップの年頭所感（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
- ・環境省 地域の浮体式風力導入支援＝6件採択、脱炭素化ビジネス促進
- ・国交省検討会 次期物流施策大綱へ提言＝港湾・空港の重点施策等
- ・設計士会が勉強会開催＝港湾基準適用の設計事例
- ・室蘭市 室蘭港長期構想を策定＝新規岸壁、埠頭確保等
- ・商船三井 波力発電で協定締結＝英国法人とプロジェクト検討
- ・NEDO 新エネのシーズ発掘＝風力促進など4件採択
- ・国交省 インフラメンテ大賞＝オンラインで表彰式

■令和3年1月4日・11日合併号（第1721号）

- ・高田港湾局長 新年のご挨拶
- ・赤羽国土交通大臣 新春インタビュー 「港湾で脱炭素化推進を」
- ・C P N 港から新しい時代が始まる＝水素社会実現を港湾が先導
- ・港湾局 6つの新規制度創設・拡充＝再度災害防止、津波対策等
- ・閣議決定 港湾関係税制改正＝特例措置の延長等
- ・ブルーカーボン オフセット制度試行へ＝港湾局検討会開催、全国統一の市場化目指す
- ・港湾分野の海外展開促進＝インフラ輸出戦略2025
- ・国交省 海の次世代モビリティ＝第2回産学官協議会開催

- ・関西空港、中部空港 国際線ターミナル拡充＝3年度からリノベーション
- ・国交省 防災・減災対策本部開催＝夏頃に第2弾プロジェクトまとめ
- ・苫小牧港 新外航RORO船就航＝極東ロシア航路
- ・国交省 日ロ次官級会合を開催＝港湾、海事等で協力を
- ・国総研 令和3年度新規7課題＝国際コンテナ、背後輸送効率化など
- ・国総研 多方向波浪の越波対策等＝第3次補正案、予算計上
- ・グリーンインフラ大賞 優秀賞22件を決定
- ・五洋建設 125周年記念ロゴ